

請 願 文 書 表

受理年月日 及び番号	平成27年2月6日 第57号
件 名	消費税の10%への増税中止を求める請願
請 願 者	文京区千石二丁目1番12号 消費税をなくす文京の会 代表 田 中 繁
紹介議員	板倉美千代
請願の要旨	次頁のとおり
付託委員会	総務区民委員会

請願理由

昨年4月に消費税率を5%から8%へと増税した結果、家計消費の落ち込みによるGDP（国内総生産）の2期連続マイナスという重大な増税不況となっています。しかし、安倍政権は、くらしや景気がどうあれ、2年後には消費税を10%にするとしています。

消費税をなくす全国の会が行った消費税増税後の生活実態調査（回答数1101人）で、「増税に対して出費を抑える工夫」の問いへの回答では、「買い控えと節約」が約6割で一番多く、「食費を抑える」「スーパーなどの安売りをねらう」などが続きました。受診回数や薬を減らすなどの“命がけの節約をする”高齢者もいるなど、無謀な増税は中止すべきとの声が大きく広がっています。

政府は、アベノミクスで「経済の好循環が生まれ始めている」としていますが、日本テレビが総選挙後実施した世論調査では、「アベノミクスによって（消費税引き上げまでに）景気が回復し、働いている人たちの所得が増えるようになると思うか」との問いに、7割が「思わない」と答えており、政府の認識と国民の実感は全くかけ離れています。

財源といえば消費税という姿勢を転換し、富裕層と大企業に応分の負担を求める「能力に応じた負担」の原則で、所得税や法人税を含む税制全体を改革する道を進むべきです。庶民いじめの最悪の増税である消費税10%は先送り実施ではなく、きっぱり中止すべきです。

以上の趣旨に立って、次のことを求めます。

請願事項

- 1 消費税率10%は「先送り」実施ではなく、きっぱりと中止するよう国に求めること。